

自然公園等工事特記仕様書（自然公園編）

I 工事概要

1. 工 事 名：令和7年度皇居外苑北の丸公園北桔橋門前入口改善工事
2. 工事場所：東京都千代田区北の丸公園
3. 工 期：令和8年3月31日まで
4. 工事内容：公園土工、擁壁工、施設整備（園路広場整備工、公園施設等撤去・移設工）、各工種共通（仮設工）

II 適用

1. 本特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
2. 本工事の施工に係る一般事項は、共通仕様書による。
3. 追加事項が必要な場合には、空欄部分に記載する。
4. 以下の項目は、該当する□欄に「レ」の付いたものを適用する。

III 適用基準等

- ☒ (1) 自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）（環境省）
- ☒ (2) 土木工事共通仕様書（国土交通省）
- ☒ (3) 自然公園等工事施工管理基準（国土交通省）
- ☒ (4) 写真管理基準（案）（国土交通省）
- ☒ (5) 工事完成図書の電子納品等要領（国土交通省）

IV 特記事項

1. 地域事項の概要

- ☐ (1) 自然公園法による地域地種区分 ―公園―地域（地区）
- ☐ (2) 自然公園法による車馬の乗り入れ規制区域
- ☐ (3) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律による鳥獣保護区、特別保護区域
- ☒ (4) 文化財保護法による史跡名称天然記念物
 - 1) 埋蔵文化財包蔵地 江戸城跡
- ☐ (5) 森林法による保安林
- ☐ (6) 海岸法による海岸保全区域
- ☐ (7) 砂防法による砂防指定地
- ☐ (8) 河川法による河川区域及び河川保全区域

2. 一般共通事項

- ☒ (1) 工事完成図のサイズは (☐A1、☒A3) とする。
- ☒ (2) 工事完成図は CAD で作成し、CAD データの提出は (☒必要、☐不要) とする。
- ☒ (3) 工事写真は、(☒A4 版、☐ 版) の工事写真帳に整理して 1 部提出する提出することとし、写真はカラーでサービスサイズ程度とする。なお、監督職員と協議のうえ電子納品のみとする場合は、この限りではない。
- ☒ (4) 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)に基づく、環境物品等の調達の推進に関する基本方針(以下「基本方針」という。)(環境省ホームページに掲載(毎年2月改正))において位置づけられた、「特定調達品目」の調達の実績(設備及び公共工事)について、当該年度の調達実績集計表(物品・役務及び公共工事)を環境省ホームページからダウンロードのうえ、Excel ファイルで作成し、提出する。
- ☒ (5) 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、木材利用実績調査要領により、Excel ファイルで作成し、提出する。

3. 施工条件 ※該当しない箇所の詳細事項(a～)は省略できるものとする。

(1) 工事全般関係

- ☐ ①各種積算の取組: ☒ ②積算補正: DIS(1)-3、完全週休2日(土日)
- ☐ ③調査対象工事: ☐ ④余裕工期の設定:

(2) 工程関係

- ☐ ①影響を受ける他の工事
- ☐ ②自然的・社会的条件による制約
- ☒ ③関連機関との協議による制約
 - a.関連機関: 東京都、千代田区
 - b.制約内容: 埋蔵文化財包蔵地であり、文化財保護法第94条第1項に基づく東京都教育委員会教育長への通知が必要
 - c.未成立の場合における成立見込時期:
- ☐ ④占用物件(地下物件、架空線など)・埋蔵文化財等の事前調査・移設
- ☐ ⑤特殊工法に伴う設計工程上の作業不能日数

(3) 用地関係

- ☐ ①用地の取得未了
- ☐ ②保安林解除や用地規制等
- ☐ ③官民境界の未確定部分
- ☐ ④用地の借地及び官有地等の使用

(4) 環境対策関係

☐ ①自然環境及び景観等保全のための制約

☐ ②公害防止のための制限

☐ ③水替、流入防止施設

☐ ④濁水、湧水等の特別処理

☐ ⑤事業損失懸念

(5) 安全対策関係

☐ ①交通安全施設等の指定

☒ ②交通誘導警備員の配置

☐ ③対策をとる必要がある他施設との近接工事

☐ ④防護施設等

☐ ⑤保安設備及び保安要員の配置

☐ ⑥発破作業等の制限

☐ ⑦有害ガス及び酸素欠乏等の対策

☐ ⑧高所作業の対策

☐ ⑨砂防工事の安全確保対策

(6) 工事用道路関係

☐ ①一般道路の搬入路使用

☐ ②仮道路の設置

☐ ③工事用道路の使用制限

(7) 仮設備関係

☐ ①他の工事に引き継ぐ場合

☐ ②引き継いで使用する場合

☐ ③構造及び施工方法の指定

☐ ④設計条件の指定

☐ ⑤除雪

(8) 建設副産物関係

☒ ①建設副産物情報交換システムの活用

監督職員への報告は、当該システムで作成した再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）により行うものとする。

☒ ②建設発生土情報交換システム登録対象

受注者は、発注者が当該システムに登録した情報について、発注後情報の更新を行うものとする。

☐ ③再生資材の活用の明示

☒ ④建設リサイクル法対象工事

a. 本工事は、特定建設資材を用いた建設物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等

に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という) 施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

b. 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法		
工程	作業内容	分別解体等の方法
仮設	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☒ 手作業・機械作業の併用
土工	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☒ 手作業・機械作業の併用
基礎	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☒ 手作業・機械作業の併用
本体構造	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☒ 手作業・機械作業の併用
本体付属品	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用
その他 ()	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用

c. 特定建設資材廃棄物の搬出

再資源化等をする施設の名称及び所在地		
特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート塊	株式会社共同 土木	東京都江東区新砂3丁目1-1-31 共同土木東京工場
アスファルト	株式会社共同 土木	東京都江東区新砂3丁目1-1-31 共同土木東京工場

d. 受注者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

☒ ⑤建設発生土の受入地への搬出 東京都建設発生土再利用センター（運搬距離 18.5km）

☐ ⑥建設発生土の他工事への搬出

☐ ⑦他工事からの建設発生土利用

☐ ⑧土壌汚染対策法の届出

(9) 工事支障物件関係

☐ ①占用物件等の工事支障物件

(10) 薬液注入関係

☐ ①薬液注入

(11) 現場環境改善費

- ☐ ①率計上内容
- ☐ ②積上計上内容：

(12) その他

- ☐ ①工事用資機材の保管及び仮置き（製作工事及び他工事との工程調整等）
- ☐ ②工事現場発生品
- ☒ ③支給品・貸与品
 - a.品名・数量：石材・51t b.規格等：φ300～1000 内外
 - c.使用場所：野面石積み e.引き渡し場所：皇居外苑管理事務所バックヤード
- ☐ ④新技術・新工法・特許工法の指定
- ☐ ⑤指定部分の引き渡し
- ☐ ⑥部分使用
- ☐ ⑦給水
- ☒ ⑧現場事務所・現場休憩所等（テントを含む）の設置
 - ☒可 設置条件：協議による。
 - ☐不可 想定休憩場所等：
- ☐ ⑨監督職員事務所の設置
- ☒ ⑩工事用水及び工事用電力の構内既存設備
 - a.工事用水：☐利用できる（☐有償、☐無償）、☒利用できない
 - b.工事用電力：☐利用できる（☐有償、☐無償）、☒利用できない
- ☒ ⑪資材置場や作業場等
 - a.場所：協議による。 b.期間：工事期間

4. 土工

- ☒ (1) 土砂のダンプトラック運搬に関しては、必ずシート掛けを行う。
- ☒ (2) 土砂を仮置きする場合は、降雨等により周辺の植生帯に流失し、植物に影響を及ぼすことのないように、シート掛け等の適切な対策を講じる。
- ☐ (3) 植生保護及び土壌の固結防止を図るため、以下に場所においては重機等の出入りは避ける。
(☐図示：、☐)
- ☒ (4) 土工における運搬および敷均し等については、含水比の高い状態で作業を行ってはならない。
- ☐ (5) 搬入する土砂は、地域生態系保全の観点から、以下の条件のものとする。
(条件：)

5. 無筋・鉄筋コンクリート

- ☐ (1) 鉄筋の種類は下記による。

鉄筋名称	種類	径(mm)	適用箇所

- ☐ (2) 鉄筋の継手方法は以下のものとする。

☐ ①重ね継手：部位（ ）、径（ ）

☐ ②ガス圧接：部位（ ）、径（ ）

☐ ③ ：部位（ ）、径（ ）

- ☐ (3) 鉄筋圧接完了後の試験は以下のものとする。

（☐超音波試験、☐引張試験）

- ☐ (4) 鉄筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 $F_c(N/mm^2)$	スランプ	適用箇所

- ☐ (5) 無筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 $F_c(N/mm^2)$	スランプ	適用箇所
18	8 cm	石積擁壁-1, 石積擁壁-2

- ☐ (6) セメントの種類は下記による。

種類	適用箇所
普通ポルトランドセメント JIS R 5210	基礎、石積抑え

- ☒ (7) コンクリートミキサーの清掃により生じる汚濁水は、公園区域外に搬出し適正に処理する。

6. 材料

- ☒ (1) 以下の工事材料は、見本又は品質を証明する資料について、工事材料を使用するまでに監督職員に提出し、確認を受ける。

（☒ JIS マーク表示品以外全て、☐ ）

なお、鋼材に使用する金物は全て JIS マーク表示品とする。

1) スチール (SS400 STK400)

2) ステンレス (SUS304)

3) アルミ板 (A5052)

4) アルミ型材 (A6063)

5) ボルト、ナット、ワッシャー (SUS304)

- ☐ (2) 植栽材料については、納入前後どちらかで材料検査をする。また、監督職員の指示があった場合は、納入樹木の根巻きを一部取り外す等により根の状況を確認し、承諾を得ること。
- ☐ (3) 樹木の形状寸法は最小限度を示し、工事完成時点のものを言うが、その許容上限は監督職員と協議のうえ決定する。
- ☐ (4) 木材の加圧保存処理は、JIS A 9002「木質材料の加圧式保存処理方法」に準拠すること。また、使用薬剤等については以下のとおりとする。
 - ① 薬剤指定： ☐ 有 ()、☐ 無 (条件：JWPA の認証同等以上)
 - ② 性能区分： JAS もしくは AQ 認定取得工場にて製作するものとする。
- ☐ (5) 木材のインサイジング加工は、製材の日本農林規格による。また、インサイジング機は、一般社団法人全国木材検査・研究協会において認定された機種を使用する。
- ☐ (6) 木材の加圧処理材を現場において切断等の加工を行う場合は、加工した部分に表面処理用木材保存剤 ((公)日本木材保存協会(JWPA)認定薬剤)で野外での使用が可能な薬品)を塗布する。
- ☐ (7) 木材の仕上げは、図面に記載のない限り、角材はプレーナー仕上げ及び丸太は円柱仕上げを標準とする。
- ☐ (8) 木材の端部及び角部は図面に記載のない限り面取りを施すこととし、面取り幅等については監督職員と協議する。
- ☐ (9) 木材の背割り加工は、材の厚みの (☐ 1/2、☐) とする。
- ☐ (10) 工事現場搬入時における木材の含水率を指定する場合は、同一試験試料から採取した試験片の含水率の平均値が以下の数値以下とする。
(☐ 人工乾燥処理： %、☐ 天然乾燥処理： %)

7. 工事共通

(1) 構造物撤去工

- ☒ ① 舗装切断作業により生じる汚濁水は、吸引により回収のうえ、公園区域外に搬出し適正に処理する。

(2) 仮設工

- ☒ ① 交通誘導警備員を配置する場合、各公安委員会が必要と認める路線・区間及び設計図書に記載のあった場合は、規制箇所毎に交通誘導警備検定合格者 (1 級又は 2 級) 1 名以上配置するものとする。また、請負者は、交通誘導警備検定合格証の写しを監督職員に提出するものとする。

(3) 運搬工

- ☐ ① ヘリコプター運搬については、着手前に「ヘリコプターによる輸送業務の安全管理要領 (自然環境整備担当参事官通知、平成 22 年 10 月 8 日) に基づき、輸送計画書 (飛

行計画及び安全管理計画等）を監督職員へ提出すること。

☐② ヘリコプター運搬の想定条件は、以下のものとする。

8. 基盤整備

☒ (1) 石積工の練積において、目地モルタルの施工は深目地とする。

9. 植栽

☐ (1) 植栽後に、防寒・対乾燥養生等が必要となった場合は、監督職員と協議する。

☐ (2) 支柱丸太の防腐処理は以下のとおりとする。

② 防腐処理：☐有・☐無

②防腐処理方法：協議による

☐ (3) 張芝部の客土（床土・目土）は、以下の条件のものとする。

①客土材：協議による

10. 施設整備

☐ (1) 石材・平板・レンガ・タイル等を材料とする以下の舗装については、設計図に基づいて割り付け図を作成し（伸縮目地を含む）、監督職員の承諾を得る。

①舗装種類：

☒ (2) 以下の舗装については、試験施工を行い監督職員の承諾を得なければならない。

①舗装種類：アスファルト舗装

☐ (3) コンクリート構造物の端部及び角部は、図面に記載のない限り面取りを施すこととし、面取り幅等については監督職員と協議する。

☒ (4) 施設の設置にあたり、詳細位置等について監督職員の立ち会いにより決定するものは、以下のとおりとする。

① 施設種類：擁壁、植栽、公園広場整備

☐ (5) 標識塗装色については、サンプルを提示し、監督員の承認を得たのち施工すること。

☐ (6) 標識表示について、情報内容、レイアウト及び色彩指定は設計図及び別途データによる。受注者はこれをもとに版下もしくは最終表示データを作成するものとする。

なお、情報内容及びレイアウトについては、版下もしくは校正刷りを提出し、監督員の承認を得ること。また、色彩については、色見本又は校正刷りを提出し、監督職員の承認を得ること。

☒11. 週休2日制試行対象工事

(1)本工事は、建設工事における週休2日制の試行対象工事である。

(2)完全週休2日（土日）の考え方

i) 対象期間内の全ての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日間以上の

現場閉所を行ったと認められる状態をいう。なお、受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。

1 週間の定義は「月曜日から日曜日まで」を基本とする。土日に代わる現場閉所日を指定する場合は同一の週で指定し、1 週間に 2 日間以上の現場閉所を行うものとする。

- ii) 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。
- iii) 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて 1 日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

(3) 総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工程表を作成する。

総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休 2 日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。

- i) 建設工事に従事する者の休日（週休 2 日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
- ii) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」
- iii) 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
- iv) 降雨日、降雪・出水期等の作業不能日数

(4) 工事工程の共有

- i) 試行工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
- ii) 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか）について、受発注者で共有するものとする。
- iii) 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
- iv) 工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注

者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。

(5)現場閉所の達成状況及び精査

現場閉所の達成状況を確認後に完全週休2日（土日）が未達成のもの又は完全週休2日（土日）の取組を希望しないものは、月単位の週休2日の補正係数に変更するものとし、月単位の週休2日が未達成のものについては、月単位の週休2日の補正係数を除した変更を行うものとする。（労務費及び各諸経費の補正分は入札説明書等による。）

また、提出された工程表が月単位の週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に月単位の週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、必要に応じ、工事成績評定実施要領に基づく点数を減ずる措置を行うものとする。なお、完全週休2日（土日）に関する点数を減ずる措置は行わない。

12. その他

- ☒ (1) 史跡における工事であることから、関係機関担当者が立会いを希望した場合は対応すること。
- ☒ (2) 施工にあたっては、皇居外苑工事作業心得を遵守すること。

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
基盤設備						
公園土工						
小規模造成工						
小規模掘削	m ³	169.40				
小規模敷均し、締固め	m ³	58.60				
残土処理工						
土砂等運搬 東京都建設発生土再利用センター18.5km	m ³	140.60				
残土等処分	m ³	140.60				
擁壁工						
作業土工						
床掘 小規模	m ³	51.50				
埋戻 小規模	m ³	15.10				
石積工						
石積擁壁-1 H=3.0m 重力式 本小松石（割肌）径300程度張付け	箇所	1.00				

石積擁壁-2 H=0.75m 石材再利用	m	0.60				
野面石積 H=0.95m 崩れ石積み（石材支給）	m	50.40				
施設整備						
園路広場整備工						
舗装準備工						
不陸整正 補足材有	m ²	313.80				
アスファルト系舗装工						
アスファルト舗装-1 歩道 w2.4m以上 表層40 再生開粒度アスコン	m ²	24.90				
アスファルト舗装-2 歩道 w2.4m以上 表層40 再生開粒度アスコン厚100 RC-40	m ²	313.80				
公園施設等撤去・移設工						
公園施設撤去工						
舗装版破碎 As40mm	m ²	313.80				
石積撤去	m	6.00				
縁石-1撤去	m	47.40				
縁石-2撤去	m	9.30				

鉄柵撤去	m	43.40				
石階段撤去	箇所	1.00				
案内板撤去 木製	基	1.00				
運搬処理工						
Co無筋運搬処分 (株)共同土木 東京中間処理工場	m ³	8.00				
As無筋運搬処分 (株)共同土木 東京中間処理工場	m ³	12.56				
鋼材処分	t	0.28				
木材運搬	m ³	9.80				
木材処分	m ³	9.80				
石材運搬 管理ヤード	m ³	1.30				
各工種共通						
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員B	人	30.00				

直接工事費						
共通仮設費(率分)	式	1.00				
純工事費						
現場管理費	式	1.00				
工事原価						
一般管理費等	式	1.00				
工事価格						
消費税相当額	式	1.00				
請負金額						

施工代価表

1箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
重力式擁壁					
2.0m以上5.0m以下, 18-8-25 (高炉), 有り, 無し, 一般養生, 延長無し	58.3	m3			
石張り					
本小松石	59.389	m2			
石張り施工手間	59.389	m2			
リフテレンクレーン[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・排対型(2014年規制)]					
25t吊 1.2m2/日	49.5	供用日			
モルタル練					
高炉	5.939	m3			
裏込碎石					
クラッシュラン C-40	4.86	m3			
型枠					
一般型枠, 均しコンクリート	0.642	m2			
コンクリート					
小型構造物, 人力打設, 24-12-25 (20) (高炉), -, 養生無し, -, 有り, -	0.193	m3			
諸雑費	1	式			

石積擁壁-1
H=3.0m 重力式擁壁

施工代価表

代価第7号

頁0019

1 箇所 当り

[illegible]

施工代価表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打基礎コンクリート					
18-8-25(高炉),無し,一般養生・特殊養生(練炭)	1.14	m3			
基礎碎石					
7.5cmを超え12.5cm以下,再生クラッシュ 40〜0	7.2	m2			
型枠					
一般型枠,均しコンクリート	0.5	m2			
コンクリート					
小型構造物,人力打設,24-12-25(20)(高炉),-,養生無し,-,有り,-	0.15	m3			
裏込碎石					
クラッシュ C-40	2.235	m3			
胴込・裏込コンクリート					
練石積	2.004	m3			
雑割石による練石積					
石材支給品	11.79	m2			
諸雑費					
	1	式			
【 合計 】					
	10	m			

石積擁壁-2
H=0.75m 石材再利用

施工代価表

代価第8号

頁0021

10 m 当り

[illegible]

野面石積
H=0.95m 崩れ石積み

施工代価表

代価第9号 頁0022

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
崩れ積及び面積(野面石修景積)	10.2	m2			石材支給品
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下,再生クラッシャー 40〜0	7	m2			
型枠 一般型枠, 小型構造物	2.4	m2			
コンクリート 小型構造物, 人力打設, 生コンクリート W/C60%以下 BB182B 【18-8-20BB】, -, 養生無し, -, 有り, -	0.7	m3			
諸雑費	1	式			
現場発生品及び支給品運搬 トラック[クレーン装置付]ベーストラック4〜4.5t積、吊能力2.9t, 有り, 3.0km以下	51	t			
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック[クレーン装置付]ベーストラック4〜4.5t積、吊能力2.9t	51	t			
諸雑費	1	式			
【 合計 】	10	m			

野面石積
H=0.95m 崩れ石積み

施工代価表

代価第9号

頁0023

10 m 当り

[illegible]

施工代価表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
透水性アスファルト舗装 2. 4m以上, 40, 開粒度アスコン(13)	100	m2			
景観透水性舗装工[材工共](完全週休2日(交替制)) 舗装厚10mm以下 施工規模50m2以上 時間的制約を受けない 昼間作業	100	m2			
諸雑費	1	式			
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

施工代価表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下層路盤（歩道部） 1層施工, 100, 再生クランRC-40	100	m2			
透水性アスファルト舗装 2. 4m以上, 40, 開粒度アスコン(13)	100	m2			
景観透水性舗装工[材工共](完全週休2日(交替制)) 舗装厚10mm以下 施工規模50m2以上 時間的制約を受けない 昼間作業	100	m2			
諸雑費	1	式			
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

北の丸公園 概算工事費

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	数量	
							設計数量	
基盤整備								
	公園土工							
		小規模造成工						
			小規模掘削			m3	169.4	
			小規模敷均。締固め			m3	58.6	
		残土処理工						
			土砂等運搬			m3	140.6	
			残土等処分			m3	140.6	
	擁壁工							
		作業土工						
			床掘り	小規模		m3	51.5	
			埋戻し	小規模		m3	15.1	
		石積工						
			石積擁壁-1	H=3.0m 重力式擁壁		箇所	1.0	
			石積擁壁-2	H=0.75m 石材再利用品		m	0.6	
			野面石積	H=0.95m 崩れ石積み		m	50.4	
植栽								
	植栽工							
		高木植栽工						
			イチョウ	H=7.0 C=0.50 W=2.5		本	4	
		地被類植栽工						
			張芝	目土厚2cm		m2	131.0	
施設整備								
	園路広場整備工							
		舗装準備工						
			不陸整正	補足材有		m2	313.8	
		アスファルト系舗装工						
			アスファルト舗装-1	歩道 W2.4m以上 表層40 再生開粒度アスコン RC40t100		m2	24.9	
			アスファルト舗装-2	歩道 W2.4m以上 表層40 再生開粒度アスコン		m2	313.8	

北の丸公園 概算工事費

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	数量	
							設計数量	
		サービス施設整備工						
		作業土工						
			床掘り(掘削)	小規模		m3	5.2	
			埋戻し	小規模		m3	3.2	
		ベンチ・テーブル工						
			石ベンチ	W1800		基	4	
		サイン施設工						
			総合案内標識	W1420×H1560 アルミ製		基	1	
		公園施設等撤去・移設工						
		公園施設撤去工						
			舗装版破碎	AS30mm		m2	313.8	
			石積み撤去	H=0~H=795		m	6	
			縁石-1撤去	150×150×600		m	47.4	
			縁石-2撤去	120×120×600		m	9.3	
			柵撤去	鋼材製 H400@2000		m	43.4	
			石階段撤去	石材製		箇所	1	
			案内板撤去	木製		基	1	
		運搬処理工						
			AS殻処分			m3	12.56	
			Co無筋殻処分			m3	8	
			鋼材殻処分			Kg	283.8	
			木材殻処分			m3	9.8	
			石材殻処分			m3	1.3	
		樹木伐採・抜根工						
			高木伐採-1	幹回り20cm未満		本	12	
			高木伐採-2	20cm以上30cm未満		本	114	
			高木伐採-3	30cm以上60cm未満		本	8	
			高木伐採-4	60cm以上90cm未満		本	1	
			高木伐根-1	幹回り20cm未満		本	12	

北の丸公園 概算工事費

[illegible]

集計数量表

[illegible]

(平均断面法)

種 別	数量合計	単 位	摘 要
土砂掘削	169.4	m ³	
流用土盛土	51.2	m ³	
		m ³	

測 点	距 離 (m)	土砂掘削			流用土盛土					
		断 面 (㎡)	平 均 (㎡)	容 積 (㎡³)	断 面 (㎡)	平 均 (㎡)	容 積 (㎡³)	断 面 (㎡)	平 均 (㎡)	容 積 (㎡³)
計算断面RNO. 1利用 RNO. 0+13. 729		0. 6			0. 3					
RNO. 1	6. 271	0. 6	0. 60	3. 8	0. 3	0. 30	1. 9			
RNO. 2	20. 00	1. 0	0. 80	16. 0	0. 2	0. 25	5. 0			
計算断面RNO. 2利用 RNO. 2+8. 000	8. 00	1. 0	1. 00	8. 0	0. 2	0. 20	1. 6			
			0. 50			0. 10				
RNO. 3		7. 3	3. 65		2. 2	1. 10				
展開図基層延長 で計算	19. 404	7. 3	7. 30	141. 6	2. 2	2. 20	42. 7			
			3. 65			1. 10				
	m			m³			m³			m³
合 計	53. 675			169. 4			51. 2			

集計数量表

[illegible]

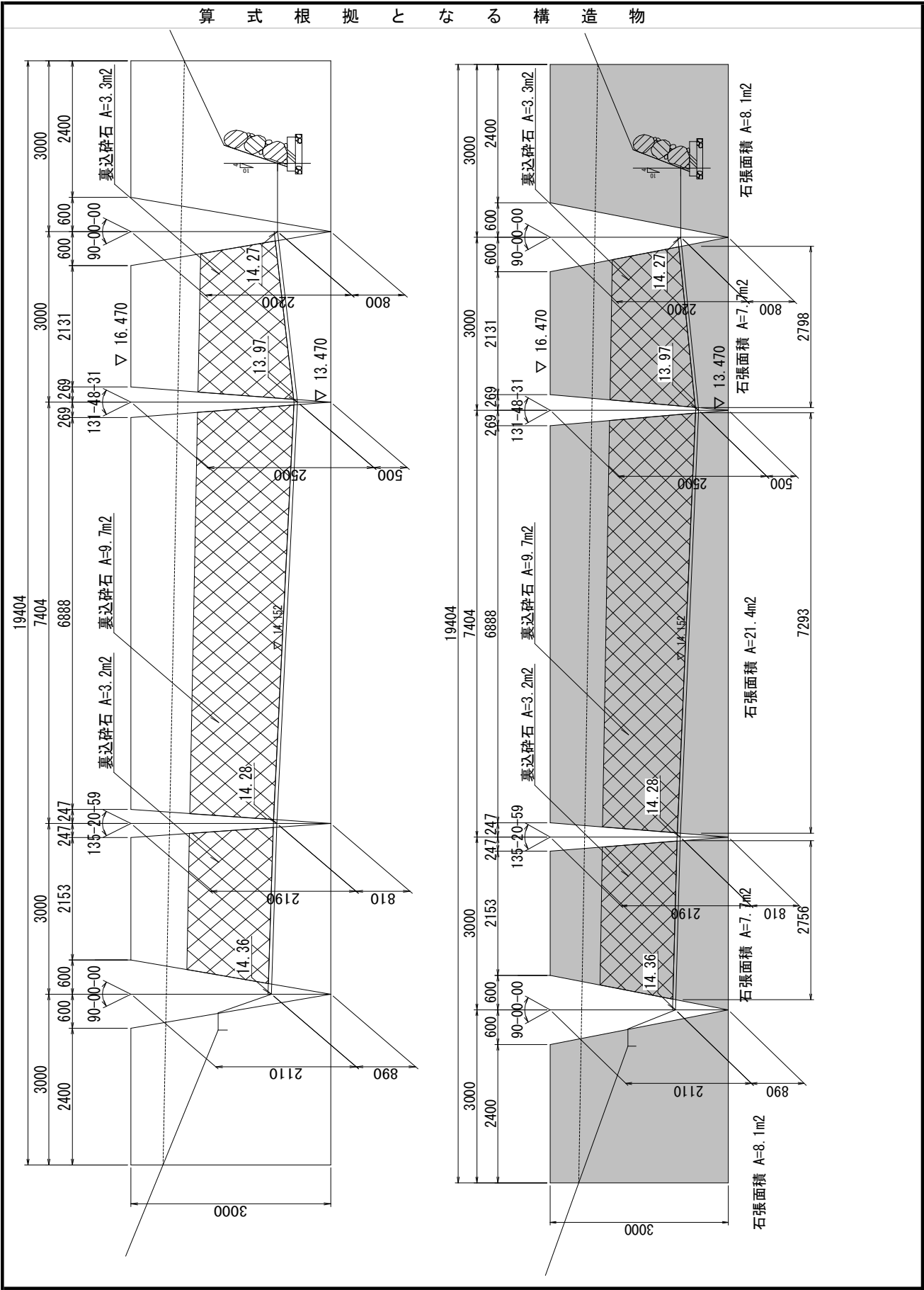
数量集計表
構造物土工

床堀- (埋戻/ 0.90) =残土・不足土												
積算 単位	細 別	規 格	単位	施工数量	数量計算書数量			床堀 土量	埋戻土量	残土処分量	床付量	適 用
					床堀	埋戻	床付		(NET)	床堀- (埋戻/C)	※小規模土工 の場合は計上 しない	
1	石積擁壁-1	H=3.0m 重力 式擁壁	箇所	1	31.667	5.219		31.667	5.219	25.868		
10	野面石積	H=0.95m 崩れ 石積み	m	50.4	3.940	1.960		19.857	9.878	8.881		
1												
1												
1												
1												
1												
1												
1												
1												
1												
合計								51.524	15.097	34.749		
								51.500	15.100	34.700		
								m3	m3	m3	m2	

材 料 計 算 書

名 称 : 石積擁壁-1

1箇所 当り計算

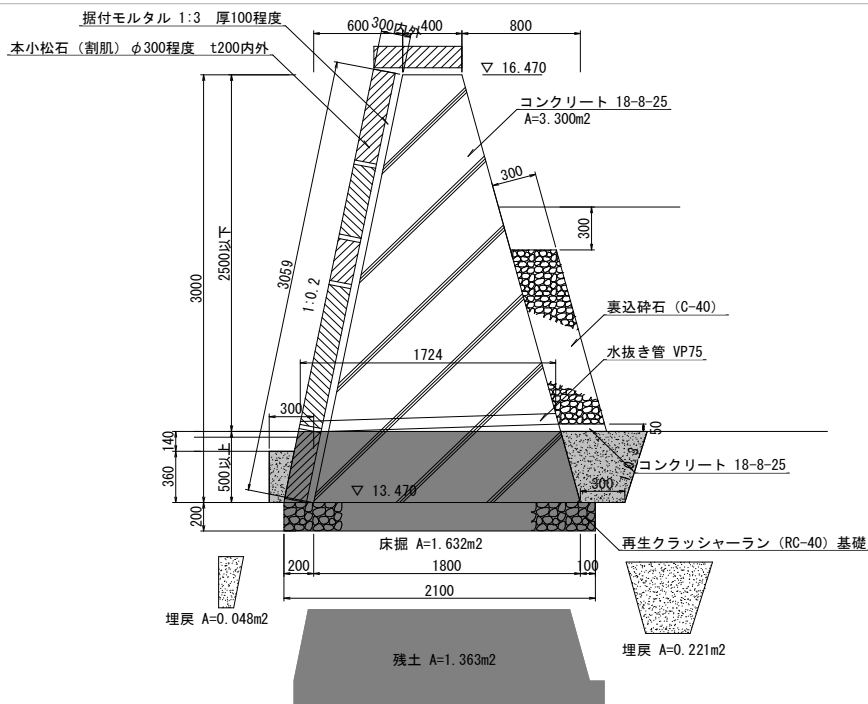


材 料 計 算 書

名称：石積擁壁-1

1箇所 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物



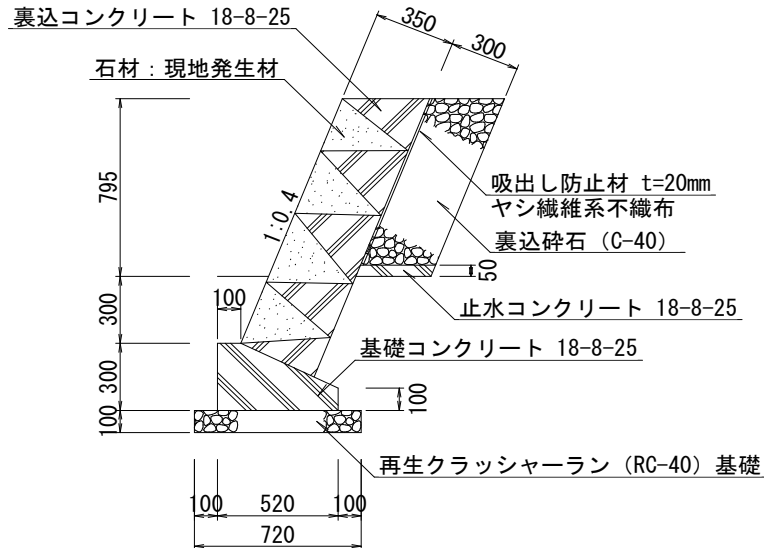
名 称	算 式	計算値	単位	数 量
床掘（小規模）	$1.632\text{m}^2 \times \text{基礎長}19.404\text{m}$	$= 31.6673$	m3	31.667
埋戻し（小規模）	$31.667 - 26.448$	$= 5.2190$	m3	5.219
残土	$1.363\text{m}^2 \times \text{基礎長}19.404\text{m}$	$= 26.4476$	m3	26.448
石張天端面積	$(2.4\text{m} + 2.153\text{m} + 6.888\text{m} + 2.131\text{m} + 2.4\text{m}) \times 0.4$	$= 6.3888$	m2	6.389
石張正面面積	$8.1\text{m}^2 + 7.7\text{m}^2 + 21.4\text{m}^2 + 7.7\text{m}^2 + 8.1\text{m}^2$	$= 53.0000$	m2	53.000
石張り面積合計	$6.389 + 53.000$	$= 59.3890$	m2	59.389
据付モルタル 1:3 厚100程度	石面積 $(6.389\text{m}^2 + 53.0\text{m}^2) \times 0.1$	$= 5.9389$	m3	5.939
重力式擁壁 H3.0m 砕石あり水抜きP含む	石張面積 $53.0\text{m}^2 \times \text{平均厚み } (0.4 + 1.8) \div 2$	$= 58.3000$	m3	58.300
裏込砕石 C-40	$(3.2\text{m}^2 + 9.7\text{m}^2 + 3.3\text{m}^2) \times \text{厚み}0.3$	$= 4.8600$	m3	4.860
均しコン型枠	$0.05 \times (2.756 + 7.293 + 2.798)$	$= 0.6423$	m2	0.642
止水コンクリート 18-8-25	$0.05 \times (2.756 + 7.293 + 2.798) \times 0.3$	$= 0.1927$	m3	0.193

材 料 計 算 書

名 称 : 石積擁壁-2

10m 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物



名 称	算 式	計算値	単位	数 量
	※土工事は隣接する石積擁壁-1に含まれると考える。			
再生クラッシャーラン基礎 RC-40 t100	$0.72 \times 10\text{m}$	$= 7.2000$	m2	7.200
現場打基礎コンクリート 18-8-25 砕石無	$(0.3 \times 0.1 + (0.3 + 0.1) \div 2 \times 0.42) \times 10\text{m}$	$= 1.1400$	m3	1.140
止水コン型枠 (均しコン用)	$0.05 \times 10\text{m}$	$= 0.5000$	m2	0.500
止水コンクリート 18-8-25	$0.05 \times 0.3 \times 10\text{m}$	$= 0.1500$	m3	0.150
裏込め砕石 C-40	$(0.795 - 0.05) \times 10\text{m} \times \text{厚み}0.3$	$= 2.2350$	m3	2.235
石積 (現地発生材) 控え350と考える	$1.179\text{m} \times 10\text{m}$	$= 11.7900$	m2	11.790
石材再利用個数	$1.179\text{m} \times 10\text{m} \times 13\text{個}/\text{m}^2$	$= 153.2700$	個	153.270
胴込めコンクリート 18-8-25	造園修景積算の手引き改訂2版P203より ; $11.790\text{m}^2 \times 0.17$	$= 2.0043$	m3	2.004

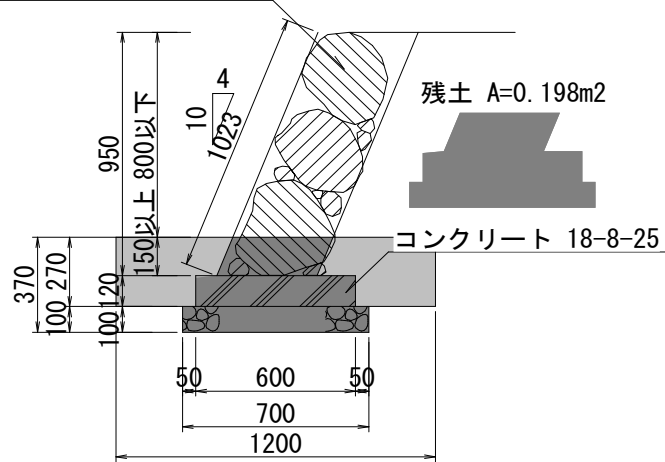
材 料 計 算 書

名 称 : 野面石積

10m 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

支給品石材 $\phi 300$ 内外 $\sim\phi 1000$ 内外



名 称	算 式	計算値	単位	数 量
床掘 (小規模)	$(0.7 \times 0.1 + 1.2 \times 0.27) \times 10\text{m}$			
		$= 3.9400$	m^3	3.940
埋戻し (小規模)	$3.940 - 1.980$			
		$= 1.9600$	m^3	1.960
残土	$0.198\text{m}^2 \times 10\text{m}$			
		$= 1.9800$	m^3	1.980
再生クラッシャー RC-40 t 100	$0.7 \times 10\text{m}$			
		$= 7.0000$	m^2	7.000
型枠 (小型構造物)	$0.12 \times 2\text{面} \times 10\text{m}$			
		$= 2.4000$	m^2	2.400
コンクリート18-8-25 小型構造物	$0.6 \times 0.12 \times 10\text{m}$			
		$= 0.7200$	m^3	0.720
野面石崩れ積 石材支給品	$1.023\text{m}^2 \times 10\text{m}$			
		$= 10.2300$	m^2	10.230

集計数量表

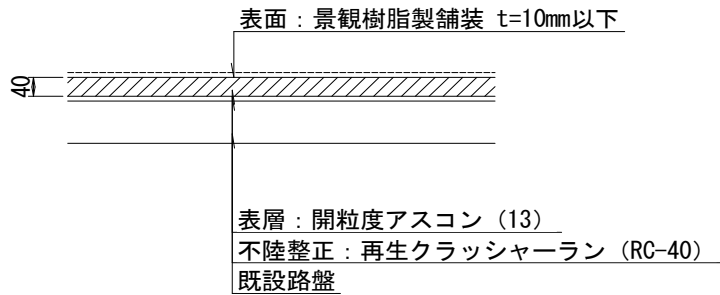
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称：不陸整正

100m² 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

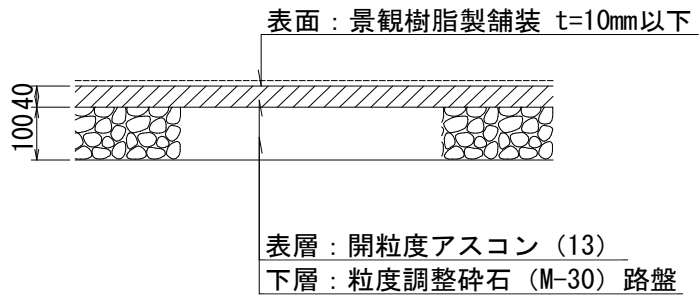
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称 : アスファルト舗装-1

100m² 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

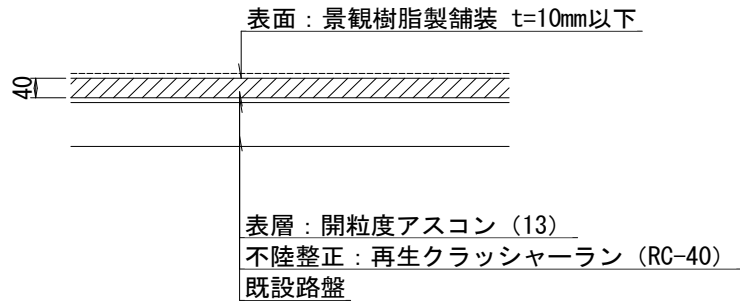
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称 : アスファルト舗装-2

100m² 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

[illegible]

集計数量表

[illegible]

■撤去廃材集計表

名 称	数 量	単位	As塊(m3)		Co塊無筋(m3)		金属塊(kg)		木材塊(m3)		石材塊(m3)				As塊無筋 m3	コン塊無筋 m3	金属 kg	木材 m3	石材 m3	
			単位当りの数量	単位当りの数量	単位当りの数量	単位当りの数量	単位当りの数量	単位当りの数量	単位当りの数量	単位当りの数量										
舗装版破碎	354.8	m2	4.0000	100		100		100		100		100		100	14.192	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
石積み撤去	6.0	m		10	3.1240	10		10		10	1.9250	10		10	0.000	1.874	0.000	0.000	1.155	0.000
縁石-1撤去	47.4	m		10	0.2250	10		10		10		10		10	0.000	1.067	0.000	0.000	0.000	0.000
縁石-2撤去	9.3	m		10	0.1440	10		10		10		10		10	0.000	0.134	0.000	0.000	0.000	0.000
柵撤去	43.4	m		10	0.0730	10	38.7200	10		10		10		10	0.000	0.317	168.045	0.000	0.000	0.000
石階段撤去	1.0	箇所		1		1		1		1	0.1650	1		1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.165	0.000
案内板撤去	1.0	基		1	4.6200	1	115.7500	1	9.7960	1		1		1	0.000	4.620	115.750	9.796	0.000	0.000
1位止め															14.2	8.0	283.8	9.8	1.3	0.0

材 料 計 算 書

名 称： 舖装版破碎

100m² 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

鋪裝版破碎

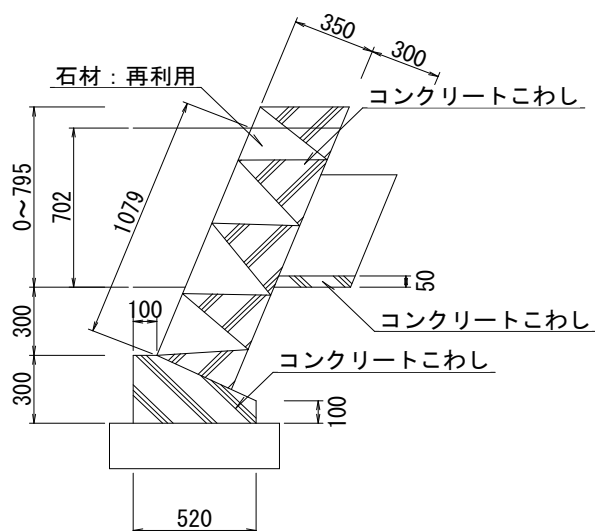
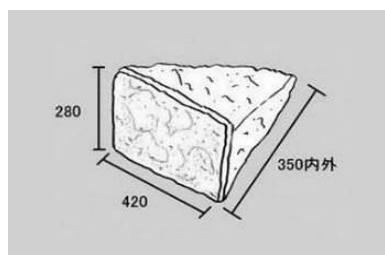
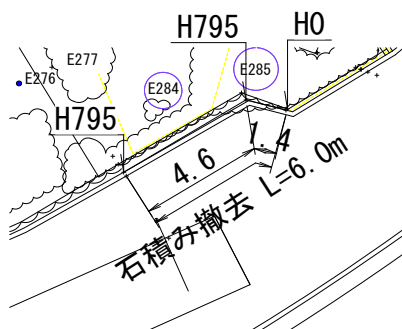
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称 : 石積み撤去

10m 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物



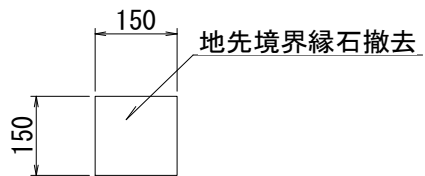
名 称	算 式	計算値	単位	数 量
平均H算出	$(0.795 \times 4.6 + 0.795 \div 2 \times 1.4) \div 6.0m$	$= 0.7022$	m	0.702
コンクリートこわし ハンドブレイカー	裏込め $1.079m \times 10m \times 0.17 + (\text{基礎} 0.3 \times 0.1 + (0.3 + 0.1) \div 2 \times 0.42 + \text{止水} 0.05 \times 0.3) \times 10m$	$= 3.1243$	m3	3.124
石材 取外し50%	$1.079m \times 10m \times 50\%$	$= 5.3950$	m2	5.395
Co殻処分	裏込め $1.079m \times 10m \times 0.17 + (\text{基礎} 0.3 \times 0.1 + (0.3 + 0.1) \div 2 \times 0.42 + \text{止水} 0.05 \times 0.03) \times 10m$	$= 2.9893$	m3	2.989
石材処分 280 x 420 x 350内外	$0.28 \times 0.42 \times 0.35 \times 1/3 \times 1.079m \times 10m \times 13\text{個}$	$= 1.9245$	m3	1.925
	※一部再利用 (H795、L0.6でおおむね10個程度) ここでは少量のためすべて廃棄と考える。			
	$0.28 \times 0.42 \times 0.35 \times 1/3 \times 1.079m \times 10m \times 13\text{個}$			

材 料 計 算 書

名 称 : 縁石-1撤去

10m 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

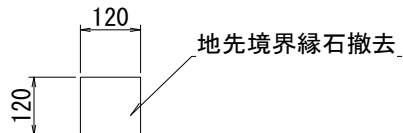
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称 : 縁石-2撤去

10m 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物

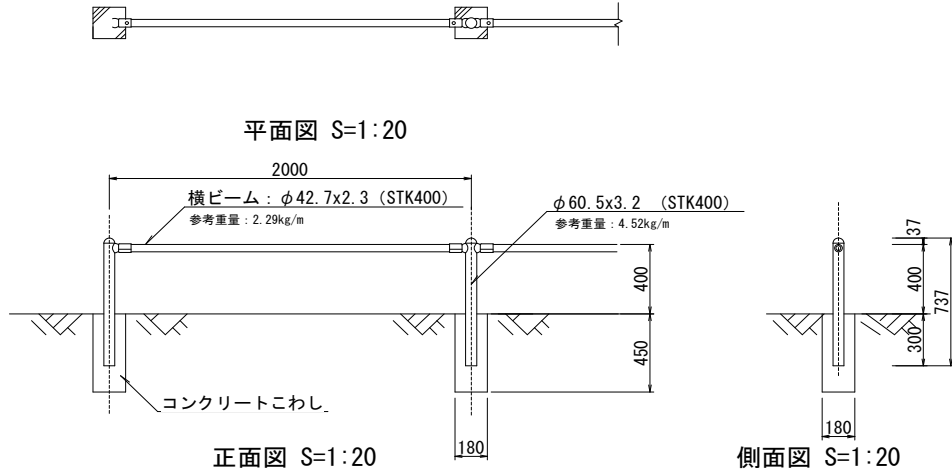
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称 : 柵撤去

10m 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物



名 称	算 式	計算値	単位	数 量
柵撤去 基礎壊し含む	10m	= 10.0000	m	10.000
Co殻処分	$0.18 \times 0.18 \times 0.45 \times 10m \div \text{ピッチ} 2.0$	= 0.0729	m ³	0.073
鋼材殻処分	$2.29kg/m \times 10m + 4.52kg/m \times 0.7 \times 5本$	= 38.7200	Kg	38.720

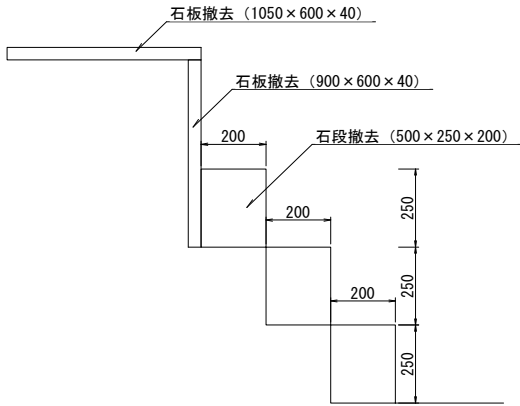
材 料 計 算 書

名 称：石階段撤去

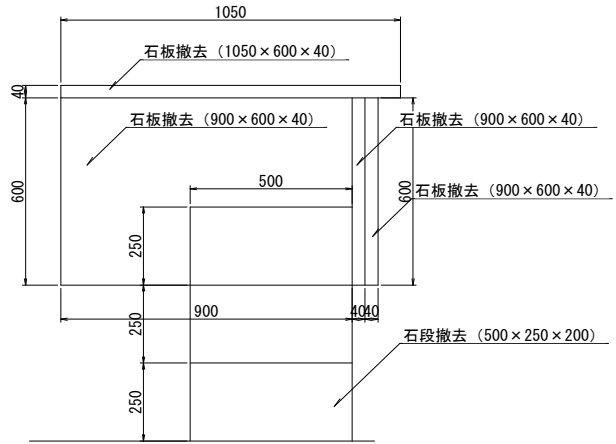
1箇所 当り計算

算式根拠となる構造物

断面图 S=1:20



正面図 S=1:20

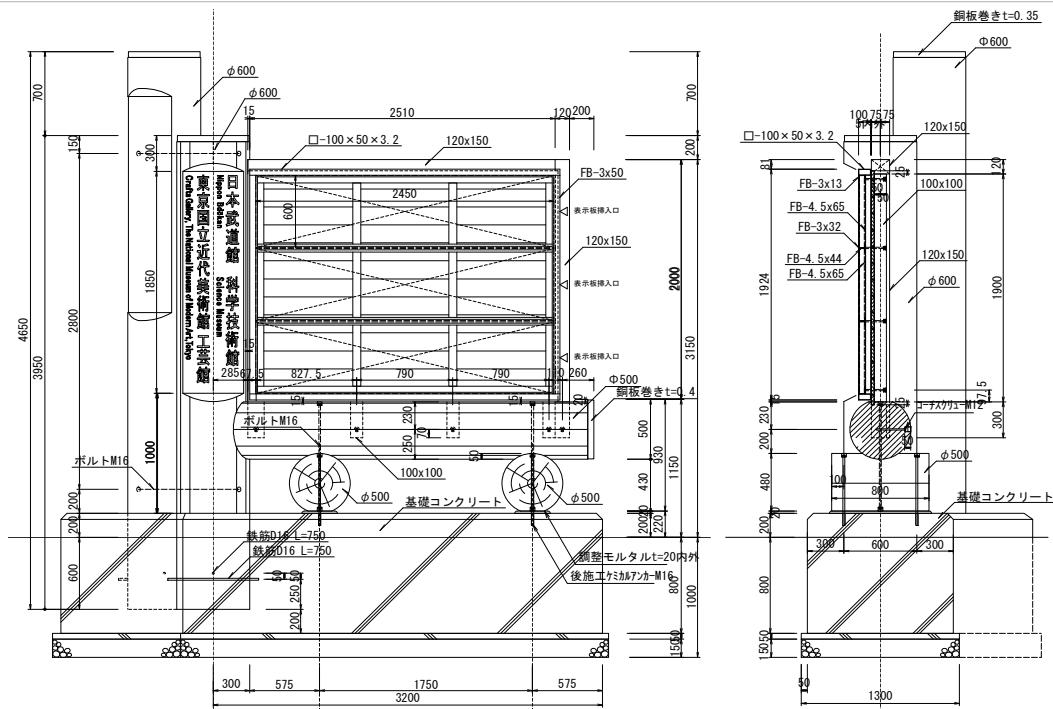
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称 : 案内板撤去

1基 当り計算

算 式 根 拠 と な る 構 造 物



名 称	算 式	計算値	単位	数 量
案内板撤去	1箇所	= 1.0000	箇所	1.000
コンクリートこわし 大型ブレーカー	過去の資料より 4.62	= 4.6200	m3	4.620
Co殻処分	過去の資料より 4.62	= 4.6200	m3	4.620
木材殻処分	過去の資料より 5.1988+4.5974	= 9.7962	m3	9.796
鋼材殻処分	過去の資料より 115.750	= 115.7500	k g	115.750

標識整備工事数量表

1. 公園案内板設置工 (1カ所)

① 仮設枠組み工

単管(2m)

3本

単管(3m)

12本

自在クランプ

24個

② 基礎数量表

種 目	計 算 式		単 位	数 量
撤去基礎	$0.45\text{m} \times 0.45\text{m} \times 0.60\text{m} \times 2\text{箇所}$	$\div$	m^3	0.24
新設基礎 m/m	$921.5+248.5+875+1,750+575 \div 1,000$	$=$	m	4.37
	$1.20\text{m} \times 4.37\text{m} \times 1.00\text{m}$	$\div$	m^3	5.24
基礎碎石	$1.30\text{m} \times 4.47\text{m}$	$\div$	m^2	5.81
	$5.81\text{m}^2 \times 0.15\text{m}$	$\div$	m^3	0.87
捨コンクリート	$1.30\text{m} \times 4.47\text{m} \times 0.05\text{m}$	$\div$	m^3	0.29
床掘り(勾配0.3)	$(1.30\text{m} \times 4.47\text{m}) + (1.90\text{m} \times 5.07\text{m}) \div 2 \times 1.00\text{m}$	$\div$	m^3	7.72
残土処分	$0.24\text{m}^3 + 5.24\text{m}^3 + 0.87\text{m}^3 + 0.29\text{m}^3$	$=$	m^3	6.64
埋戻し	$7.72\text{m}^3 - 6.64\text{m}^3$	$=$	m^3	1.08
型枠 外側	$1.20\text{m} \times 1.00\text{m} \times 2\text{面}$	$=$	m^2	2.40
	$1.4185\text{m} \times 1.00\text{m}$	$\div$	"	1.42
	$0.2485\text{m} + 0.875\text{m} + 1.75\text{m} + 0.575\text{m} \times 1.00\text{m}$	$\div$	"	3.45
	$(4.37\text{m} - 0.9215\text{m}) \times 1.00\text{m}$	$\div$	"	3.45
	$0.9215\text{m} \times 1.00\text{m}$	$\div$	"	0.92
計			m^2	11.64
型枠 内側	$1.30\text{m} \times (1.00\text{m} - 0.15\text{m}) \times 2\text{面}$	$=$	m^2	2.21
	$0.70\text{m} \times (1.00\text{m} - 0.15\text{m}) \times 2\text{面}$	$=$	"	1.19
	$1.30\text{m} \times 0.70\text{m}$	$=$	"	0.91
計			m^2	4.31
型枠合計	$11.64\text{m}^2 + 4.31\text{m}^2$	$=$	m^2	15.95
コンクリート打設	$[5.24\text{m}^3 - (1.30\text{m} \times 0.70\text{m} \times 1.00\text{m})] + 0.29\text{m}^3$	$=$	m^3	4.62
モルタル1:2	$0.80\text{m} \times 0.30\text{m} \times 0.02\text{m}$	$\div$	m^3	0.01
	$(1.30\text{m} \times 0.70\text{m} \times 1.00\text{m}) = 0.91\text{m}^3$			
	$0.91\text{m}^3 - [(\pi \cdot 0.60(2)) \div 4 \times 0.85\text{m} \times 2\text{本}]$	$=$	m^3	0.43
計			m^3	0.44

③ 木材数量表

NO.		名称	摘要	数量	単位	単材積	総材積	表面積
		新設案内板	内訳					m ²
			仕入れ 寸法			仕入れ材積(m ³)		
1		主柱	L5000×末口Φ600	1	本	1.800	1.800	
2		副柱	L4000×末口Φ600	1	本	1.440	1.440	
3		横木	L4000×末口Φ500	1	本	1.000	1.000	
4		脚	L2000×末口Φ500	1	本	0.500	0.500	
		小計					4.740	
5		枠材(横)	L3000×125×155	1	本	0.0581	0.0581	
6		枠材(縦)	L3000×125×155	1	本	0.0581	0.0581	
7		枠材(縦)	L3000×105×140	1	本	0.0441	0.0441	
8		枠材(縦)	L3000×105×105	3	本	0.0331	0.0993	
9		背板(合じゃくり)	L3000×155×30	13	本	0.0140	0.1820	
10		背板(合じゃくり)	L3000×95×30	2	本	0.0086	0.0172	
		小計					0.4588	
		合計					5.1988	

製品材積表		仕上り 寸法			仕上材積(m³)		表面積
1	主柱	L4650×末口Φ600	1	本	1.674	1.674	8.76
2	副柱	L3950×末口Φ600	1	本	1.422	1.422	7.44
3	横木	L3100×末口Φ500	1	本	0.775	0.775	4.87
4	脚	L 800×末口Φ500	1	本	0.200	0.400	2.52
5	桢材(横)	L2700×120×150	1	本	0.0486	0.0486	1.46
6	桢材(縦)	L2320×120×150	1	本	0.0418	0.0418	1.25
7	桢材(縦)	L2260×100×135	1	本	0.0305	0.0305	1.06
8	桢材(縦)	L2260×100×100	3	本	0.0226	0.0678	2.70
9	背板(合じゃくり)	L2580×150×25	13	本	0.0097	0.1261	11.70
10	背板(合じゃくり)	L2580×90×25	2	本	0.0058	0.0116	1.18
仕上材積、表面積 合計						4.5974	42.94

④ その他部材数量表

[illegible]